

■ 就学援助の認定要件を満たすための所得基準額算定方法

就学援助を受けるためには、同じ住所に住民登録がある全員の所得金額の合計額が、下記により算定される所得基準額以下であることが必要です。

所得基準額

=

生活扶助額+冬季加算+教育扶助額(基準額等+給食費+学習支援費)+住宅扶助額

(1) 生活扶助

第1類 (生活基準額) (月額)

年齢別 (年度末時点)	基準額①	基準額②	基準額③
0～2歳	39,680円	18,600円	40,620円
3～5歳	39,680	23,450	40,620
6～11歳	41,350	30,320	41,550
12～17歳	43,850	37,460	43,460
18～19歳	41,760	37,460	43,160
20～40歳	41,760	35,840	43,160
41～59歳	41,760	33,990	43,160
60～64歳	41,760	32,140	43,160
65～69歳	41,760	32,140	41,260
70～74歳	41,350	29,120	41,260
75歳以上	35,500	29,120	37,250

第2類 (月額)

世帯人員	基準額①	基準額②	基準額③
1人	27,790円	38,660円	27,300円
2人	38,060	42,790	40,090
3人	44,730	47,440	44,480
4人	48,900	49,090	46,390
5人	49,180	49,510	46,420
6人	55,650	49,920	53,130
7人	58,920	50,330	55,940
8人	61,910	50,740	58,500
9人	64,670	51,150	60,850

世帯人員	逓減率①	逓減率②	逓減率③
1人	1.0000	1.0000	1.0000
2人	0.8700	1.0000	0.8548
3人	0.7500	1.0000	0.7151
4人	0.6600	0.9500	0.6010
5人	0.5900	0.9000	0.5683
6人	0.5800	0.9000	0.5383
7人	0.5500	0.9000	0.5087
8人	0.5200	0.9000	0.4844
9人	0.5000	0.9000	0.4639
10人以上	0.5000	0.9000	0.4639

経過的加算額

年齢別 (年度末時点)	世帯人員別																	
	2人		3人		4人		5人		6人		7人		8人		9人		10人以上	
	①	②③	①	②③	①	②③	①	②③	①	②③	①	②③	①	②③	①	②③	①	②③
0～2歳	990円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	1,370円	3,500円	580円	2,540円	0円	1,930円	0円	1,850円
3～5歳	990	0	0	0	0	0	0	0	0	470	0	1,710	0	1,130	0	590	0	510
6～11歳	350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12～17歳	0	0	0	0	0	0	1,120	0	740	0	1,940	0	3,200	0	4,050	0	4,040	0
18～19歳	1,380	0	0	0	720	0	2,350	0	1,960	0	3,090	0	4,280	0	5,100	0	5,090	0
20～40歳	1,380	0	0	0	0	0	1,090	0	690	0	1,830	0	3,020	0	3,840	0	3,820	0
41～59歳	1,380	0	0	0	0	480	0	0	0	0	380	0	1,570	0	2,390	0	2,380	0
60～64歳	1,380	0	0	0	0	1,080	10	1,170	0	230	0	230	130	0	950	0	930	0
65～69歳	90	0	0	0	0	1,420	0	1,170	0	230	0	230	340	0	1,150	0	1,140	0
70～74歳	90	0	0	0	0	0	0	400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75歳以上	1,710	0	0	0	0	560	0	410	0	0	20	0	1,030	0	1,720	0	1,710	0

(2) 冬季加算

(月額)

世帯人員	冬季加算
2 人	3,730 円
3 人	4,240
4 人	4,580
5 人	4,710
6 人	5,010
7 人	5,220
8 人	5,380
9 人	5,560

(3) 教育扶助

(月額)

	基準額等	給食費
小学校	3,430 円	3,840 円
中学校	5,750 円	4,460 円

(年額)

	学習支援費
小学校	16,000 円
中学校	59,800 円

(4) 住宅扶助

(月額)

世帯人員	限度額
2 人	42,000 円
3 人	46,000
4 人	46,000
5 人	46,000
6 人	50,000
7 人以上	55,000

※特例加算は 1 人当たり 2,500 円

【例】

母親（40 歳）、中学生（13 歳）、小学生（7 歳）で家賃 49,000 円のアパート暮らしで、世帯全員の所得金額の合計額が 2,000,000 円の場合

1 生活扶助額（月額）

$$A : (41,760 + 43,850 + 41,350) \times 0.7500 + 44,730 = 139,950$$

各世帯員の第 1 類の基準額①の合計額×逓減率①＋第 2 類の基準額①

$$B : (35,840 + 37,460 + 30,320) \times 1.0000 + 47,440 = 151,060$$

各世帯員の第 1 類の基準額②の合計額×逓減率②＋第 2 類の基準額②

$$C : (43,160 + 43,460 + 41,550) \times 0.7151 + 44,480 = 136,134.367$$

各世帯員の第 1 類の基準額③の合計額×逓減率③＋第 2 類の基準額③

A＋特例加算＋経過的加算① と B×0.855＋経過的加算② と C＋経過的加算③ を比較し、大きいものを生活扶助額（月額）とする。

$$\textcircled{A} \quad 139,950 + (2,500 + 2,500 + 2,500) + (0 + 0 + 0) = 147,450$$

A＋特例加算＋経過的加算①

$$\textcircled{B} \quad 151,060 \times 0.855 + (0 + 0 + 0) = 129,156.3$$

B×0.855＋経過的加算②

$$\textcircled{C} \quad 136,134.367 + (0 + 0 + 0) = 136,134.367$$

C＋経過的加算③

$$129,156.3 (\textcircled{B}) < 136,134.367 (\textcircled{C}) < 147,450 (\textcircled{A}) \Rightarrow \textcircled{1} \text{を使用} \Rightarrow 147,450 \times 12 = 1,769,400 / \text{年}$$

※ 算定された生活扶助額に 10 円未満の端数が生じた場合には、これを 10 円に切り上げるものとする。計算過程では端数処理はしない。

2	冬季加算			4,240 円／月（11 月から 3 月の 5 か月分を加算）
3 (1)	教育扶助額（基準額等）	3,430+5,750	=	9,180 円／月
	(2) 教育扶助額（給食費）	3,840+4,460	=	8,300 円／月
	(3) 教育扶助額（学習支援費）	16,000+59,800	=	75,800 円／年
4	住宅扶助額			46,000 円／月（限度額）

<所得基準額(年額)>

$1,769,400 + 4,240 \times 5 \text{ 月} + 9,180 \times 12 \text{ 月} + 8,300 \times 11 \text{ 月} + 75,800 + 46,000 \times 12 \text{ 月} = 2,619,860 \text{ 円}$

<世帯全員の所得金額の合計額>

世帯全員の市県民税課税証明書の【令和 7 年中の合計所得金額】の合計額=2,000,000 円

●判定

$2,000,000 \text{ 円} \leq 2,619,860 \text{ 円}$ 「世帯全員の所得金額の合計額が日立市が定める所得基準額以下である。」と判断

